

令和5年度新任農業委員・農地利用最適化推進委員ブロック別研修会を開催



挨拶をする外山専務理事兼事務局長

本年度県内 23 農業委員会で改選が行われ、新たな農業委員と農地利用最適化推進委員が 199 名誕生しました。

新任委員を対象に農業委員会の業務等を学んでいただくため『令和5年度新任農業委員・農地利用最適化推進委員ブロック別研修会』を県南、県央、県北の3ブロック（8月18日、23日、25日）に分けて開催しました。

研修会では、農業委員会の概要・業務や農地法、農地関連法制度、農地中間管理事業等を説明。その後、先輩委員からのメッセージとして、
県南ブロック：串間市農業委員会の川崎善昭前会長、
県央ブロック：宮崎市農業委員会の松田実前会長、
県北ブロック：高千穂町農業委員会の甲斐謙二前会長に実体験に基づいた活動の話や応援の言葉をいただきました。

参加者は熱心に研修を受け、積極的に質問されるなど、意識の高さが感じられ、これからの活動が期待されました。





高千穂町農業委員会 甲斐前会長

笑いも交えながら、“地域農業者の相談に丁寧に対応していくこと”が大切



宮崎市農業委員会 松田前会長

“新規就農者のために優良農地の確保”、“地域の話し合い活動への積極的な参加や活動記録のこまめな記録”が大事



串間市農業委員会 川崎前会長

“将来の農地利用を見据えた基盤整備”、“農業者の声を意見として上げていくこと”が大切

(新任委員の感想)

「体験を交えての話はとても興味深く理解しやすかった」「分からないことは先輩委員等に確認しながら頑張りたい。」など



主な感想

県南

- 研修内容を再度ゆっくり勉強して農家の人たちに迷惑をかけないようにしていきたい。農家とコミュニケーションをとり、研修内容を活かしていきたい。
- 農地法で細かく決まりがあるため内容がとても難しく感じたが、地域の話し合い等は積極的に参加し情報を集め、声を聞いていくことから取り組んでいきたい。
- 特別職の地方公務員として秘密保持義務は守らなければならないと思った。
- 農地は大切な財産なので責任を持って行いたい。
- 高齢者が増え、担い手がいなくなるので心配。今後は農家の話を聞いて農業がよりよくなるように力になりたい。



県南ブロックの研修の様子

県央

- 研修内容・テキストを参考に委員同士・委員OBと相談を行いながら、問題解決に取り組んでいきたい。
- 農地利用を最適に進めていけるように農業委員、市、中間管理機構の方々と話し合い、協力し合って業務を進めていきたい。松田前会長の話は大変参考になった。
- 内容があまり理解できなかったが、とにかく活動したら記録するということから始めていきたい。少しずつ勉強していきます。
- やっていたか不安になったが、事務局や先輩の委員さんに相談しながら頑張ってみようと思う。



県央ブロックの研修の様子

県北

- 今は比較的貸し借りがうまくいっていますが、5~10年後は難しいと考える。地域とのコミュニケーションが大事なので日頃から見回り、声かけをしていきたい。
- テキストを自宅ですっかり読み理解を深めていき、今後の活動に活用していきたい。地主さんの気持ちを理解できるように”会話”を通じて活動しやすい環境作りを進めていきます。頑張ります。
- 何もかも初めてのことなので資料を見ることに追われてとても難しかった。農業委員会事務局に分からないことはどしどし聞いて業務に活かしたいと思う。
- 農地法はとても難しいので勉強して総会等で少しずつ理解していこうと思います。



県北ブロックの研修の様子